

1.前方後円墳

6.双方円墳



7.円墳



3.前方後方墳



4.柄鏡式古墳

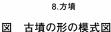


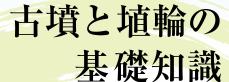
5.双方中円墳





9.六角墳 10.八角墳





はじめに



写真 埴輪の種類

本題に入る前に、古墳の形と埴輪の種類に ついて触れておきたい。古墳は、前方後円墳が よく知られているが、他にもいろいろな形があり、 一番多いのは円墳である。埴輪は、大きく円筒 埴輪と形象埴輪に分けられ、形象埴輪はモチ ーフによって、人物埴輪、動物埴輪、家形埴 輪、器財埴輪に分けられる。



file No.01 Myoyou-Kofun

明用には市内最大の前方後円墳である三島神社古墳がある。墳長55m、後円 部の直径27.5mとされる。横穴式石室を持ち、周濠も確認されている。土師器や埴 輪が出土している。

■形状/前方後円墳 ■築造年代/6世紀後半

■出土品/土師器、埴輪 ■1959年(昭和34年)指定文化財に指定

社殿が建つのは前方部とさ れるが古墳は大きく崩れて 前方部、後円部の区別は難 しい。横穴式石室は壊され ているが、拝殿前に石室の 石材が埋め込まれているの で忘れずに確認したい。







File No.02 Oineduka -Shinyashiki Site

新屋敷遺跡



鴻巣警察署の東側から第2庁舎の付近にかけての一帯に広がる遺跡で、国道 17号の鴻巣警察署前の交差点から免許センターに向かう通りの北側を新屋敷遺 跡、南側を生出塚遺跡としているが、一連の遺跡として捉えられる。発掘調査で 100基以上の古墳が確認されているが、現在は新屋敷遺跡の北端部に宮地古墳 1基が残るのみである。また、生出塚遺跡では、40基の埴輪窯跡が検出されてお り、その規模は東日本最大級、日本国内でも屈指の規模の埴輪生産跡とされる。埴 輪窯跡は1基も残っていないが、東裏1号公園に説明板がある。また、埴輪の一部 は、クレアこうのすの文化財展示スペースで見学することができる。



である。



形状から円墳と思われるが、改変が大きく、詳細不明 第2庁舎の横にある公園。生出塚遺跡の説明板がある。



クレア鴻巣文化財展示スペース: 入場無料。重要文化 財の埴輪が並ぶ姿は圧巻。

箕田の古墳 🗨



file No.03 Mida-Kofun

箕田地区には、箕田古墳群とべったら塚古墳がある。箕田古墳群は、記録されているだ けで21基の古墳があったとされ、また区域内の発掘調査でも古墳が確認されているが、武 蔵水路や高崎線、宅地等の開発で消滅し、現在は7基が残るのみである。べったら塚古墳 は旧中山道脇に1基のみ残る古墳。箕田古墳群とは立地環境が異なる。

- ■形状/円墳 ■築造年代/〈箕田古墳群〉6世紀初頭~7世紀半ば
- ■出土品/〈箕田2号墳〉土師器、須恵器片、埴輪片等〈箕田6号墳〉埴輪、須恵器、土師器 〈箕田7号墳〉直刀、鏃、耳環、玉類等〈箕田8号墳〉埴輪
 - 〈箕田9号墳〉鉄鏃・玉類・須恵器・土師器〈べったら塚古墳〉埴輪(伝承)
- ■1970年 (昭和45年) 鴻巣市指定史跡に指定



直径32mの円墳。周溝が確認されている。箕田古墳群 全体の説明板もあるので最初に訪れたい。



直径16mの円墳。綺麗に保存・維持されている。私有 地内であり普段の見学はできない。



直径32mの円墳とされる。戦後に地域の人が土盛りし たという話もあるが詳細は不明である。



直径15mの円墳。外からは見えないが、保存状態は良好 である。私有地内であり普段の見学はできない。



直径10mの円墳。横穴式石室から副葬品が出土してい る。竹藪の隙間から墳丘の高まりを確認できる。



直径16.7mの円墳。説明板もあるが、畑の中にあるの で無断で畑内に入らないように注意したい。







円墳とされ、埴輪が出土したと伝えられているが詳細 は不明である。

file No.04 Shimooshi-Kofun

下忍には、下忍愛宕神社古墳と宝養寺古 墳の2基がある。今回はこのうち下忍愛宕神社 古墳について紹介する。

- ■形状/円墳(詳細不明) ■築造年代/不明
- ■出土品/なし(未調査)

下忍愛宕神社古墳:愛宕 神社の本殿が乗る高まり が直径22mの円墳とされ る。調査はされておらず石 垣で覆われるなど、改変 が激しく一見すると古墳と は分かりにくい。

